

特別講義



特別講義

対面式：京都学習センターの講義室等で受講する方式です。

Web式：自宅で受講する方式です。

特別講義への申込方法

■1回完結型の講義です。
受講しても単位の修得にはなりません。

■京都学習センター所属の在学生（休学中を除く）が
受講対象者です。

■応募者多数の場合は、抽選となります。

■開催方法は教員によって異なります。

Web申込【Googleフォーム】

講義ごとのURLまたはQRコードから申し込んでください。

10月1日から申込受付開始

申込締切日を過ぎると、Googleフォームにアクセスできません。

- Googleフォームから送信した後に受付完了メールが届きますので、必ず確認してください。
- 当日、学生証をお持ちください。
- 当日ご都合が悪くなった場合は、事前にご連絡ください。
- 無断欠席が続く場合、受講をご遠慮いただく場合があります。
- Googleフォームからの申込方法がご不明な方は、京都学習センターまでお問い合わせください。



抽選結果は、講義開催日の1週間前に
放送大学キャンパスメールに連絡します。

11/5(水)

10:15～11:45

【申込締切：10/21(火)】

自死遺族が抱えるものと その後の歩み方

倉西 宏 先生



Web式30名

私の専門である遺族支援の中でも、今回は自死／自殺で家族を亡くしたご遺族の心について論じたい。具体的な自死遺族の語りを紹介すると共に、自死遺族がその後どのように歩みを進め得るのか、示したいと思う。

—先生からのお知らせ—

2025年11月から自死遺族への短期グリーフケアプログラムを実施するため、自死遺族の参加者を募っていますので、希望者は10月中旬に h-kuranishi@po.kbu.ac.jp (倉西先生のメールアドレス) までご連絡下さい。



<https://x.gd/4E87x>

11/6(木)

13:30~15:00

【申込締切：10/22(水)】

東南アジアの神仏習合

(※2024年11月7日特別講義と同じ内容です)



片岡 樹 先生

対面式30名

タイ国の神仏習合について解説します。仏教国タイでは、日本と同様に各種の神々も祀られています。日本においては明治初年の神仏分離まで仏教と神道が混然一体となった、いわゆる神仏習合が一般的でした。ただしタイ国の場合、神仏分離や廃仏毀釈が行われず、また中国系、インド系などの移民が持ち込んだ神々も多いことから、現在に至るまで神と仏の混在状況が続いています。ではこの状況をいかに理解するか。本特別講義では、日本の神仏習合論を手がかりに、日本との比較の視点から解説していきます。



<https://x.gd/8YtHR>

11/7(金)

13:30~15:00

【申込締切：10/23(木)】

祭礼が直面する現代的課題



村山 弘太郎 先生

対面式30名

多くの祭礼は過去の社会構造に基づき創設・運営されてきた。しかし近代以降の社会構造の大きな変化により、その対応ができていない状況も散見される。本講義では、それら現代的な課題に直面する祭礼の様子について確認したい。



<https://x.gd/mPW5w>

11/13(木)

10:15~11:45

【申込締切：10/29(水)】

「金色夜叉」と「不如帰」



瀬崎 圭二 先生

対面式30名

尾崎紅葉「金色夜叉」と徳富蘆花の「不如帰」は、明治から昭和に至るまで読み継がれたベストセラー小説です。いずれも明治30年代に新聞に連載され始め、すぐに演劇化されて人気を博しました。演劇だけでなく、歌や図像、後には映画やテレビドラマを通じて物語が広まっていった点に特徴があります。本講義では、この二作品を中心に、明治30年代の家庭小説や、繰り返し消費されている物語のあり様についてお話ししたいと考えています。



<https://x.gd/Tw9CW>

12/10(水)

10:15~11:45

【申込締切：11/25(火)】

イスラーム世界論② ムスリムの五大義務の謎に迫る (喜捨編)

長岡 慎介 先生



対面式30名

世界の18億人以上が信仰するイスラームには様々な教えがあり、ムスリム(イスラーム教徒)たちはそれを守って日々の生活を送っています。特に、五行と総称される五大義務行為は彼らの信仰実践の中心にあるものです。この講義では、五行のうち「喜捨」を取り上げて、その全容を紹介しながらその背後にあるイスラーム独自の思想について考えてみたいと思います。



<https://x.gd/W8Ykw>

1/8 (木)

15:30~17:00

【申込締切：12/22(月)】

太平洋の島々における 花と木の利用

古澤 拓郎 先生



対面式30名

太平洋の島々は、お互いに海で隔てられているために固有性がある一方、人間がさまざまな植物をカヌーで運んだために共通性も高い。ソロモン諸島の事例を中心に、食料、観賞用、そのほかの目的で利用される植物について紹介する。



<https://x.gd/eKf34>

1/28(水)

13:30~15:00

【申込締切：1/13(火)】

アフガニスタン

へ

先生

※講師の都合により
中止となりました。



対面式30名

アフガニスタンという国名を聞くことはすっかり少なくなりました。たまに聞こえてくるのは、タリバンという集団の厳しい統治、女性への差別的対応、難民などのあまり明るいとは言えないニュースです。本講義では、そのようなアフガニスタンへ今一度焦点を当て、大きな転機となった2001年のアメリカでの同時多発テロ事件から現在までを振り返ってみます。



<https://x.gd/TEAXy>